

## 平成 27 年度化学物質環境実態調査の進捗状況

平成 27 年 12 月 22 日  
環境保健部環境安全課

### 1. 調査内容

#### (1) 初期環境調査

環境リスクが懸念される化学物質について、一般環境中で高濃度が予想される地域においてデータを取得することにより、化管法の指定化学物質の指定、その他化学物質による環境リスクに係る施策について検討する際のばく露の可能性について判断するための基礎資料等とすることを目的としている。平成 27 年度は、表 1 に示す物質を調査対象とした。

#### (2) 詳細環境調査

化審法の優先評価化学物質のリスク評価等を行うため、高濃度が予想される地域を含む一般環境中における全国的なばく露評価について検討するための資料とすることを目的としている。平成 27 年度は、表 2 に示す物質を調査対象とした。

#### (3) モニタリング調査

化審法の特定化学物質について、一般環境中の残留状況を監視することを目的としている。また、POPs 条約に対応するため、条約対象物質等の一般環境中等における残留状況の経年変化を把握することを目的としている。平成 27 年度は、表 3 に示す物質を調査対象とした。

### 2. 精度管理

初期環境調査及び詳細環境調査においては、複数の分析機関が同一の化学物質の分析を行うため、分析機関間の差異及びばらつきが生じる恐れがあることから、これらを事前に把握し、対策を行うことを目的として、化学物質環境実態調査精度管理等業務を実施した。平成 27 年度の同業務の概要は以下のとおり。

- (1) 共通の標準物質等(内標準物質及びサロゲートを含む。)を配布。
- (2) 標準物質を調製、各分析機関に配布し、ラウンドロビンテストを実施。

また、モニタリング調査においては単一の分析機関による分析であるが、過年度からの継続性を担保するため、国立研究開発法人国立環境研究所及び有識者によって分析機関へ立入調査を行い、実施状況が適正であることの確認を行った。

表1 平成27年度初期環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体		要望施策
		水質	大気	
1	アクリル酸 2-ヒドロキシエチル			大気環境
2	1-アリルオキシ-2,3-エポキシプロパン			大気環境
3	N-エチルアニリン			化管法
4	2,3-エポキシ-1-プロパノール			大気環境
5	銀及びその化合物			環境リスク 初期評価
6	2,4-ジアミノアニソール			化管法
7	2,4-ジクロロフェノール			化管法
8	N,N-ジメチルアセトアミド			環境リスク 初期評価
9	2,3-ジメチルアニリン			化管法
10	2,3,5,6-テトラクロロ-p-ベンゾキノン			化管法
11	1,2,3-トリメチルベンゼン			環境リスク 初期評価
12	N-ニトロソジメチルアミン			環境リスク 初期評価
13	ビス(4-アミノシクロヘキシル)メタン (別名:ジアミノジシクロヘキシルメタン)			環境リスク 初期評価
14	1,3-ビス[(2,3-エポキシプロピル)オキシ]ベンゼン			化管法
15	有機スズ化合物			環境リスク 初期評価
15-1	モノブチルスズ化合物			
15-2	ジブチルスズ化合物			
15-3	ジメチルスズ化合物			

注: は初めて調査するもの、 は過去にも調査しているもの (以下同様)

表2 平成27年度詳細環境調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体				要望施策
		水質	底質	生物	大気	
1	イソブチルアルデヒド					大気環境
2	2-(2-エトキシエトキシ)エタノール					化審法 化管法
3	クロロエタン					化管法
4	3-クロロプロペン (別名:塩化アリル)					環境リスク 初期評価
5	ジエタノールアミン					化審法
6	2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-メチルフェノール (別名: 2,6-ジ- <i>tert</i> -ブチル-4-クレゾール、BHT)					化審法 環境リスク 初期評価
7	<i>N,N</i> -ジメチルドデシルアミン= <i>N</i> -オキシド					化審法
8	1,5,5-トリメチル-1-シクロヘキセン-3-オン (別 名:イソホロン)					化管法
9	ヒドラジン					化審法
10	1-ブタノール					化管法
11	メチルエチルケトン					化管法

表3 平成27年度モニタリング調査対象物質

番号	調査対象物質	調査媒体			
		水質	底質	生物	大気
1	総 PCB				
2	ヘキサクロロベンゼン				
3	DDT 類(6物質)				
4	ヘプタクロル類(3物質)				
5	トキサフェン類(3物質)				
6	ヘキサクロロシクロヘキサン類(4物質)				
7	ヘキサプロモビフェニル類				
8	ポリプロモジフェニルエーテル類(臭素数が4から10までのもの)				
9	ペルフルオロオクタンスルホン酸				
10	ペルフルオロオクタン酸				
11	ペンタクロロベンゼン				
12	エンドスルファン類(2物質)				
13	1,2,5,6,9,10-ヘキサプロモシクロドデカン類(5物質)				
14	総ポリ塩化ナフタレン				
15	ヘキサクロロブタ-1,3,-ジエン				
16	ペンタクロロフェノール				